

いよいよ春作業本番！ 気象変動に強い土づくりと イキイキ苗づくりで今年の米づくりをスタート！

気象変動に強い米づくりの第一歩は、初期生育確保に向けた土づくりと健苗育成です。数年土づくりを休んでいる田んぼでは積極的にケイ酸資材等を施用しましょう！天候予報をチェックし、天候に応じたきめ細やかな管理で、揃いの良いがっちり苗に仕上げましょう！

種播きは田植え適期から逆算しましょう！

初期生育を確保するためには適期の移植が大切です。田植えの目安を 5 月 15～20 日とし、遅くとも 5 月 25 日までには田植えできるような計画を立てましょう。

○育苗作業のめやす

	育苗日数	田植え適期	播種	催芽	水漬け
稚苗	25 日	5 月 20 日	4 月 25 日	4 月 24 日	4 月 12 日
中苗	35 日		4 月 15 日	4 月 14 日	4 月 2 日

初期の苗代管理の注意点



温度管理に注意！

○育苗期間の温度管理

	昼間	夜間	注意点
出芽時	30～32℃		<ul style="list-style-type: none"> ・無加温出芽は芽が揃うまできめこまやかな管理が必要です。 ・被覆資材の特性を理解して 低温時は保温対策を取りましょう。
緑化期 (出芽後 2～3 日程度)	25℃	15℃	<ul style="list-style-type: none"> ・晴天になると高温障害が発生しやすくなります。ハウスの温度管理に注意し、早めにハウスを開放しましょう。
緑化期以降	20～25℃	8℃以上	<ul style="list-style-type: none"> ※ 40℃を超すと 30 分でヤケます。 【外気温が 25℃以上の日は 要注意！】 ・低温の時期には、保温に努め、また、霜が予想される場合は、早めにハウスを閉めましょう。

☆かん水は午前中にたっぷり 1 回。夕方からのかん水は根張り不良となるため避けましょう。
 ☆プール育苗では、1.5 葉期からハウスを開放しかん水します（箱上 1cm 程度）。苗が伸びやすくなるためハウスの気温はやや低めに管理しましょう。

STOP！ 農作業事故！ ～春季農作業事故防止強化期間中～

- ◎複数で作業していますか？
- ◎機械作業を中断するときはエンジンを停止していますか？
- ◎トラクターに安全キャブ・フレームがついていますか？
- ◎トラクター走行中路肩により過ぎて走行していませんか？

今年も残念ながら重大事故が発生しています。

ちょっとした不注意が重大事故につながります。

しっかりと休息をとり無理のない作業を心がけましょう！



育苗期間中の病害対策

出芽を揃え、温度管理やかん水を適切に行い、病害を発生させない環境づくりが大切です。カビが発生したり、苗の生育異常が見られたりした場合には、早めにご相談ください。

○育苗期間中に発生する病害と対策

病原菌	主な症状	発生条件	発生抑制のポイント
フザリウム	白色～淡紅色のカビが発生	緑化期の低温、湿度の変動が大きい時	低温をさけ、適切な温度を保つ 過湿にしない
ピシウム	カビは見えない。出芽後の芽、根の枯死やムレ苗が発生		
リゾプス	種子、芽の周辺に白いカビ、根の褐変、葉の黄化	出芽時の高温多湿	33℃以上の高温、多湿にしない
苗立枯細菌病 もみ枯細菌病	第2葉の葉身基部が黄白化、枯死、坪枯れ	高温、多湿	高温、多湿にしない 発生した場合は苗を処分

土づくり肥料を積極投入！

☆土づくり肥料の中でも特にケイ酸資材は気象に負けない稲づくりに重要です。

ケイ酸資材は

①根の活力維持、②登熟能力の向上、③いもち病抵抗性の向上などの効果が期待できます。積極的に施用しましょう。【ケイカル 120kg/10a】

☆PHの低い圃場では有機物の分解が遅れ、ワキを助長します。適正なPHは5.5～6.5ですので、酸度矯正を行い、肥料養分の吸収阻害等を防ぎましょう。

☆養分の供給力増加や、登熟不良、品質低下軽減のために、耕土深15cmを目標に、耕起を行いましょう。

雑草イネの発生に注意！

雑草イネが発生している田んぼでは早急に対策が必要です！

収穫した米に赤米が混ざっていませんか？

穂を握るだけで籾が落ちてしまうイネはありませんか？

それは「雑草イネ」かもしれません。

雑草イネは古代米、赤米栽培品種とは違います。

発見が遅れ放置すると、3～4年で田んぼが雑草イネだらけになってしまいます。



1. 雑草イネを見つけたら、根元から抜き取って処分します。

(焼却等、抜き取った雑草イネは必ず適切に処分する。ほ場に放置しない。)

2. 拡散防止のため、機械作業を行う際には、雑草イネ発生ほ場を最後にする。

3. 雑草イネに効果のある除草剤の体系処理を行う。

4. 自家採種は行わない。

※「雑草イネ」を見つけたらすぐに、近くの農業技術普及課・JAに相談してください。